

認知症事例検討会 開催報告

日時：平成30年6月21日（木）18：00～19：30

場所：北見赤十字病院 多目的ホール「ミント」

内容：多職種事例検討会

事例テーマ「行方不明がきっかけで介入に至った、家族だけで介護を抱えている事例」



上記内容にて事例検討会を開催致しました。当日は平日にも関わらず、医療保健介護福祉に従事する関係者88名の参加がありました。

今回の事例提供者の高齢者相談支援センター南部 柳原氏・北見赤十字病院 認知症看護認定看護師 福島係長に事例概要を説明いただき、グループディスカッションを行いました。

認知症疾患医療センター職員と認知症疾患医療連携協議会 担当者会議メンバーに各グループのファシリテーターとして、グループの進行を担当していただきました。

今回はアセスメントシート（次頁参照）を用いて、本人・家族の強み・弱みをアセスメントすることから始めました。そのアセスメントを基に、本人・家族の強みを伸ばす支援を、本人・家族の弱みを補う支援について活発な意見交換が行われました。既存のサービスに当てはめるのではなく、本人・家族が幸せになるための支援を考える検討会を目指しました。各グループにて検討した支援とその根拠を発表していただき、参加者全体で各グループの意見を共有することができました。

その後、事例提供者によるまとめとして、事例となったご本人とご家族への関わりのプロセス、実際の支援内容の説明がありました。ご本人とご家族の強みを活かす支援、地域の支援者を巻き込んで、本人・家族の望む支援を作り上げていくプロセス等、今回の事例で重要視した点をお話いただきました。

参加者の声をアンケート結果から抜粋し、ご紹介致します。
「認知症の方でもできる事を引き出す事が大切と気づいた。」
「成功体験で自尊感情を高める点に、なるほどと思った。」
「皆さんとのディスカッションがとても楽しかった。」
「強みと弱みから支援の方向性を検討することが、今後にいかせると思った。」 「多職種の方の意見を聞き、視野が広がった。今後、役に立つと思う。」

また、「サポートがあれば事例提供してみたい」との声が過半数でした。 次回はH31年2月頃を予定しております。多数のご参加お待ちしております。

（事務局 伊藤記）



<アセスメント>

A まさこさんの強み（今後活かしていきたいところ）		B まさこさんの弱み（支援が必要なところ）
C 家族の強み		D 家族の弱み（支援が必要なところ）
どのような支援があると、まさこさんと家族は幸せに暮らして行けるか		その根拠（アセスメントを総合的に判断して書いてみて下さい）
1		
2		
3		
4		
5		
6		